

令和2年度 根岸地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

JRの駅周辺や八幡橋付近、浜に主要な商業施設があり、高齢者等にとって買い物に行きにくい地域もあります。新しい集合住宅が建っている地域があり、全体の高齢化率が抑えられているところもありますが古くからある集合住宅や地区によっては高齢化が進んでいる地域もあります。住民の結びつきが強く、連合町内会を中心に組織化されており、ボランティア活動や地域福祉保健計画への取組みにも熱心な地域です。地域がこれからも元気に活動できるように広く住民が健康作りに取組むことまた、その場が用意されていること。また、既存のボランティア活動や地域サロン、健康作りの取組みが継続されるよう新たな担い手が育成されることが必要と考えています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハッピー根岸の話し合いの場で上がった地域の困りごとやニーズを5職種会議や包括カンファ、エリア会議で共有し、地域ケア会議に繋ぐ。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	既存の団体の活動に参加させていただき、困りごとを聞き取り、項目別に書き出すことで可視化する。5職会議、包括カンファで共有し、課題分析する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症サポーター養成講座受講者がサポーターとして活動できる場を紹介する。また、受講者が新たな活動団体を立ち上げるための支援をしていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアマネジャーを対象とした地域のインフォーマルサービスの説明、研修会を実施する。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和2年度は年間を通して新型コロナウイルス感染症拡大防止のためこれまでと同じケアプラザ事業の実施や貸室による地域住民の活動が制限されましたが、施設内の感染症予防やより安全な施設利用、介護予防などの課題が明確になった一年でした。
 毎年重点課題として取組んでいる磯子区地域福祉保健計画地区別取組(ハッピー根岸)との協働も集まったの会議が困難な状況となり、個別ケースへの対応に留まってしまいました。しかし、その中のパソコン相談のために整えたWi-Fi環境が横浜市の助成により拡充することができたので、次年度計画ではICTを活用した事業展開も視野に検討しています。
 また、コロナ禍にあっても広報誌やチラシの配架、回覧依頼などのために地域関係機関やスーパーマーケット、事業所などへの訪問を継続し、関係性の継続を図りました。
 認知症サポーター養成講座を根岸小学校で1クラスではありましたが実施することができたことは、これまでに築いた関係性と必要性を共有してきたことの成果と考えています。

区からのコメント

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な事業や活動に影響があったと感じます。そんな中でも各種事業や広報活動など、様々な取組を進めていただきありがとうございました。コロナ禍においてつながりが必要とする方に対して、工夫を凝らした積極的なアプローチをなされ、区域全体にも波及し参考となる取組がされていました。特に高齢者に対する支援は、活動再開を見据えたアンケート実施や、お手製の広報・啓発媒体などにより、つながりの維持に効果があったと見受けられます。このような取組が地域に根ざしていくために必要なものであると感じていますので、今後とも是非とも継続していただきたいと考えます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により逆に施設内の課題が明白になったとのことなので、次年度以降は、利用者の方々により安心して施設を利用できるような取組を期待します。次年度の計画にはICTを活用した事業展開を検討されているとのことですが、地域の中にはICT関連に強い方や弱い方様々な方がいらっしゃると思います。様々なレベルの方を対象に事業を進めていただけることを期待しています。